

ログイン

アカウントを忘れた場合



聖心女子大学
「聖心歳時記」

@SeishinDiary

ホーム



聖心女子大学「聖心歳時記」

作成者: goukaku@u-sacred-heart.ac.jp [?]

このページに「いいね！」する - 9月10日 - 編集済

シリーズ学生記者が行くー広尾Walking2016ー
「戦後の広尾商店街①」

これまでも広尾商店街については様々な話題が紹介されていますが、今回は聖心女子大学が創立された昭和23年頃の商店街についてのお話です。

昭和14年に広尾に移って以来、代々受け継がれているお寿司屋さん 江戸っ子鮓（下記広尾散歩通りMAP B-3参照）の大女将・加藤さんに当時の様子を伺いました。写真上が昭和29年、下が昭和55年当時の江戸っ子鮓です。

終戦直後は広尾周辺も一部を除いてほとんどの場所が焼け野原。奇跡的に焼けずに残った江戸っ子鮓も昭和29年に再開するまで休業を余儀なくされました。時代はまさに食糧難。多くの家が周辺の土地に小さな畑を持ち、野菜などを作っていたそうです。加藤さんも渋谷川辺の畑で小松菜を栽培し、またお家の目の前でもカボチャやきゅうり、ナスなどを育てていました。ただ当時は皆が苦しい時代、作物が食べ頃になった矢先に盗られてしまうことも多かったとか。

商店街の中程には当時「広尾キネマ（後の広尾銀映座）」という映画館がありました。映画好きなお母様に連れられてよく観に行き、大人気のエノケン（榎本健一）、ロッパ（古川ロッパ）の喜劇、また昭和23年にデビューした美空ひばりの映画などで元気ももらっていたそうです。ある日、大スターのエノケンとロッパがお家の近くに映画の撮影にきた時があり、それはそれは興奮されたとおっしゃっていました。

戦争で中断されていた多摩川の花火大会も昭和24年の夏に再開。西の方向真正面に富士山を望むお家の2階からはその花火も良く見えたのだそう。また商店街中央に山門を構える祥雲寺境内では盆踊りが行われ、当時中学生の加藤さんも「テスト前でも盆踊りは何が何でも行きましたね」と教えてくださいました。娯楽の少ない時代だからこそ、みんなで集まって楽しむイベントが盛んだったのですね。日々の生活に苦労した食料難の時代ではありましたが、人々が元気に生きられるような働きかけがあったことを知り、日本人の底力を感じました。

広尾散歩通りMAPはこちら。 http://www.u-sacred-heart.ac.jp/images2/map_surround.pdf

SRS(聖心 Radio Station)部員 竹腰友里子(1年)